

A) 積極的に防除作業を行い、島内からの排除を目指す種類

オオキンケイギク

キク科 *Coreopsis lanceolata*

原産地：北アメリカ

外来生物法：特定外来生物

生態系被害防止外来種リスト：緊急対策外来種

特徴

日当たりの良い草原、土手などに生育するキク科の多年生草本。5～6月頃に黄色の大きな花を咲かせる。園芸植物としてかつては広く植えられており、野外への逸出も散見される。

葉 : 根元から生える葉ははじめ細長いへら型で、大きくなるにつれ、3～5枚の小葉に分裂する。茎から生える葉も同様の形で1カ所から対になって葉が出ることが多い。

花 : 5～6月頃に黄色い花を咲かせる。多くのキク科植物でみられるように小さな花が集まって出来る頭状花で、直径は5～7cm。

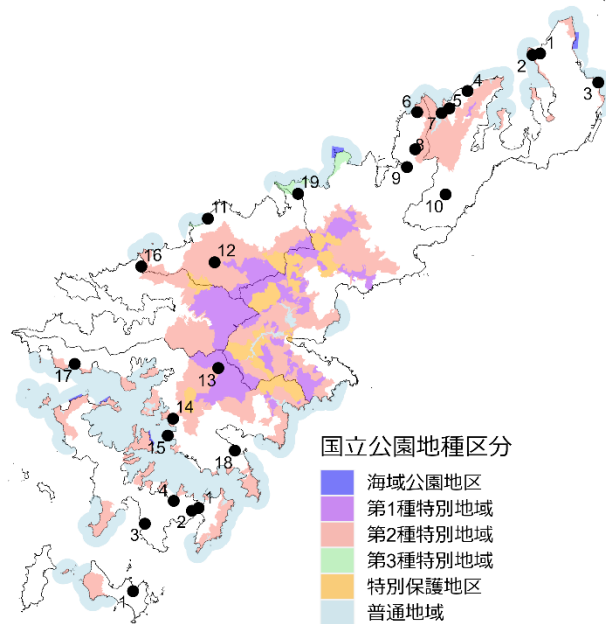
繁殖 : 種子繁殖により生育地を拡大する。種子には翼があり、風に飛ばされやすくなっている。



影響 : 日当たりの良い河原などで在来種と競合し、駆逐してしまう事例が国内で見られている。

侵入状況 : 令和6年1月現在、奄美大島で19カ所、加計呂麻島で4カ所、請島で1カ所の生育が確認されている。本種は園芸植物としてごく普通に流通していたことから、特定外来生物と知らずに栽培を続けている人がいる可能性もある。普及啓発を通じて情報の収集が求められる。

オオキンケイギク生育地点(奄美大島)
2024年1月17日現在



島名	大地点	地点名
加計呂麻島	1	生間
加計呂麻島	2	諸鈍
加計呂麻島	3	佐知克
加計呂麻島	4	勝能
奄美大島	1	屋仁
奄美大島	2	蒲生崎線
奄美大島	3	あやまる岬
奄美大島	4	円墓地
奄美大島	5	嘉渡 平和記念碑前
奄美大島	6	芦花邸
奄美大島	7	秋名交番前
奄美大島	8	ゴルフ場前
奄美大島	9	徳洲会病院花壇
奄美大島	10	中勝民有地
奄美大島	11	戸円県道法面
奄美大島	12	フォレストポリス
奄美大島	13	県道612号線(徳川下福線)
奄美大島	14	須佐礼
奄美大島	15	手安-久根津間
奄美大島	16	今里-宇検間
奄美大島	17	管鈍
奄美大島	18	伊須
奄美大島	19	国直-根瀬部間
請島	1	請阿室

対策状況 : 22カ所で継続的な防除作業を実施。道路沿い法面などの急傾斜地、高所での駆除に課題が残る。

防除のコツ : 5~6月の花期以外はロゼット状の葉しか持たないため、発見が難しい。花期は黄色い花がよく目立つことから花が咲き、種子が出来るまでの時期に駆除を実施したい。根から丁寧に抜き取る必要がある。